

演習

月曜 5 限 @4 階ラボ

尾山 大輔

www.oyama.e.u-tokyo.ac.jp/zemi

2014 年 4 月 7 日

担当教員

- ▶ 尾山 大輔
www.oyama.e.u-tokyo.ac.jp
- ▶ 専門
ゲーム理論, 経済理論
- ▶ 2014 年度担当授業
 - ▶ 経済学のための数学 (夏)
 - ▶ 数学 II (夏)
 - ▶ Topics in Economic Theory (冬)
- ▶ 研究室
10 階 1012

時間・場所等

- ▶ 月曜 5 限 (16:40-)
- ▶ ラボ (4 階)
- ▶ 初回
4 月 28 日

内容

- ▶ プログラミング実習
- ▶ 夏学期
Stachurski and Sargent, “Quantitative Economics” (<http://quant-econ.net>)
の教材 (の一部) を使って数値計算の手法を学習。
(講義要項にのっているものから変更しました。)

担当者が予習してきて、みんなの前で披露。
それをふまえてみんなで議論， ちょっと書きかえて動かしてみる， 等々。
- ▶ 冬学期
何らかの個人/グループ・プロジェクトを担当してもらう予定。
(担当教員の研究に関連するテーマのリストから選ぶ， という形式？)
- ▶ プログラミングの経験は問いません。 やる気， 根気は必要。
- ▶ 教育用計算機システム (ECCS) の端末にログインできるようにしておくこと。

背景

- ▶ コンピュータ・リテラシーを高めましょう。

人間には大変な作業をコンピュータにさっとやらせることができるような能力を身につけましょう。

- ▶ 経済学の学習にも役立つ。

とりあえず数値例を計算させたりグラフを描かせたりすることで、イメージをつかむことができる。

(手を動かしてプログラムを書けば動く。)

- ▶ 研究レベルでも同様。

- ▶ なぜ“Python”か

(一つの言語を経験すれば他の言語にも比較的容易に対応できるであろうから、入門レベルでの言語の選択はあまり重要ではないだろうが)

- ▶ フリーかつオープンソース
- ▶ 科学計算用のライブラリが豊富
- ▶ かといって科学計算に特化した言語ではない。
卒業後の就職先によっては仕事の役に立つかも。

成績評価方法, その他

- ▶ 成績評価方法
出席, 発表, 討論への貢献, 論文

- ▶ 今年度からのゼミなので, 先輩, OB・OG はいません.

選考

- ▶ 学部所定の申込書類に加えて
 - ▶ 自己紹介
 - ▶ いま興味を持っている経済現象
 - ▶ 本演習参加希望の理由

などをまとめたものを提出.

- ▶ 面接
日時は追って連絡.
www.oyama.e.u-tokyo.ac.jp/zemi
- ▶ 2次募集も必ず行う.
- ▶ 定員：10名程度
(1次募集5名, 2次募集5名という感じ?)